



聴いて 視て 肌で感じ取った平和の大切さ 2013原水爆禁止世界大会参加者報告会

8月20日(火)原水爆禁止世界大会・長崎大会に参加した職員の報告会を開催しました。5人からそれぞれ、大会に参加しての思いや様子が報告されました。

「平和祈念式典で田上市長は長崎平和宣言で、今年4月開催されたNPT再検討会議準備委員会で提出された核兵器の非人道性を訴える共同声明に80カ国が賛同したにもかかわらず日本政府は署名せず、世界の期待を裏切った。二度と世界の誰にも被爆の経験をさせないという被爆国としての原点に反するという批判に式典に参加していた安倍首相はどういう思いで聞いていたのだろう。」「被爆者の方々が生きている間に核兵器をなくさなければと感じた。」「核兵器廃絶という同じ意志をもったたくさんの方が集まると何かできるんだと思った。」「被爆体験を聞き、被爆者のことだけでなく、若い世代の未来を心配された。繰り返してはいけないとバトンを受けた気がした。」「いま私たちにできること、事実を友人や職場の人に伝える。署名を集めるなどの役割を感じた。」などなど報告されました。また、組合員として参加した南地区の太田さん(83歳)から感想が寄せられました。「私にとって長崎の世界大会は30年前と20年前に参加して3回目になります。何回参加しても思いは新たなものがあります。原爆資料館で、焼け焦げた弁当箱に黒焦げになったご飯を見ていると、この弁当箱にご飯を詰めているその朝の状況が目の前に浮かんで来て、家族に囲まれキット幸せな一日が始まろうとしたひと時が想像されました。だが、少年はその弁当を食べることはなかった。一発の原爆で抹殺されたであろう弁当箱の持ち主も当時の私と同じ年代の少年であつたらうに、と思うと、他人事と思えず思わず涙があふれました。分科会は、「映像のひろば」に参加。オリバー・ストーン監督の核廃絶と被爆者への並々ならぬ思いを聞くことが出来ました。原爆投下をアメリカの間違ったとはっきり言い切るアメリカ人に、アメリカの良心を見た気がしました。」



参加されたみなさん猛暑の中ご苦労さまでした。また、多くのみなさんから代表派遣募金にご協力いただきました。ありがとうございました。

9月スタート!!医療福祉生協通信教育207名受講

8 月 20 日現在

東・中地区	病院・附属	こども	支援センター	協同	
組合員	職員	職員	職員	職員	
36	49	2			
	レインボー	南地区	芦原	みなみ	河西地区
	職員	組合員	職員	職員	組合員
		27	7		17
那賀地区	おおみや	海南・海草	げんき	その他	本部
組合員	職員	組合員	職員	組合員	職員
19	8	5	5	1	7

組合員	職員	合計
105	102	207

※産能コースなども含んでいます

2013年度医療福祉生協連通信教育コース別集計

1	医療福祉生協のいのちの章典	56
2	憲法と医療生協	42
3	医療生協運動と明るいまちづくり	27
4	医療生協と介護	20
5	高齢者のいきいき生活	18
6	医療生協の健康づくり	11
7	高齢者にやさしいまちづくり	8
8	行動変容を生むアプローチ	8
9	入門・医療生協の生い立ち	4
10	地域に「元気」をつくる医療生協の班長	3
11	まちづくりのリーダー支部運営委員ハンドブック	3
12	社会保障と医療生協運動	3
13	わかりやすい医療生協の経営の見方	2
14	理事と職責者に必須の新生協法	1
15	その他産能大学コースほか	1